



プレスリリース

上田市

令和 8 年 1 月 14 日

報道機関 各位

上田市、地元企業による DX 推進事例を紹介 ～新春 DX 推進フォーラム・交流会～

上田市の東信州次世代産業振興協議会と一般財団法人 AREC は、2023 年に開講した『東信州 DX 大学』が 3 年目を迎え、地域の企業や自治体、教育機関等と連携して DX 人材のさらなる育成を進めています。

この度、『令和 8 年 新春 DX 推進フォーラム・新春交流会 ～東信州 8 社の DX 戦略と取り組み～』を開催します。地域企業による DX の最新事例を紹介し、交流を図ります。

1 日時：令和 8 年 1 月 28 日（水）14:00～16:30（終了後に交流会）

2 場所：上田東急 REI ホテル 3 階信濃

3 内容：東信州 DX 大学特別ミニセミナー

企業 8 社による DX 事例発表

4 参加費：無料

交流会参加の場合のみ 5,000 円

※ただし、AREC・Fii プラザ会員は交流会も無料

5 詳細・申込 URL

AREC 公式ページ: <https://arecplaza.jp/archives/2777>

東信州次世代イノベーションセンター: <https://higashishinshu-ngic.com/dx/8158/>

上田市は「SDGs 未来都市」です。

SUSTAINABLE
DEVELOPMENT
GOALS



上田市は持続可能な開発目標(SDGs)を支援しています。

本件に関する問合せ先

上田市 商工課

課長 竹内 (担当 石川)

TEL 0268-23-5396

上田市、地元企業による DX 推進事例を紹介 ~新春フォーラム・交流会~

【概要】

東信州次世代産業振興協議会(事務局:上田市)と一般財団法人浅間リサーチエクステンションセンター(AREC)は、2026年1月28日に「令和8年 新春DX推進フォーラム・新春交流会～東信州8社のDX戦略と取り組み～」を開催する。

【背景】

ARECは、信州大学繊維学部ファイバーイノベーション・インキュベーター施設(Fii)と連携して「AREC・Fii プラザ」を運営しており、産学官連携やレンタルラボ・シェアオフィス等の取り組みを進めている。

その中で、2023年5月に開講した「東信州DX大学」が3年目を迎えた。

東信州DX大学は、東信州次世代イノベーションセンター(AREC内)を中心拠点とし、地域の企業・自治体、大学・高校等の教育機関、企業、金融機関、専門家、関係機関等との連携により「地域特性を活かしたDX人材の育成」を進めてきている。ITエンジニアリング・情報セキュリティ、ものづくりDX、デザイン・デジタルマーケティング、バックオフィスなどの重点項目が挙げられ、1テーマにつき複数回にわたる実践的な研修プログラムなどの実施により、ARECコーディネータが伴走支援して会員企業でのDX推進に寄与、成果事例も挙がってきた。

ARECはこれまでも、会員企業が多く集う機会に合わせて、具体的な成果を発表してきた。2025年6月20日には、例年の事業報告会とともに「イノベーションフォーラム」を開催、会員企業による事業プレゼンや成果展示などを行って、好評を得た。

このたびの東信州DX大学の成果を発表する場は「新春交流会」。毎年1月、AREC・Fii プラザ会員企業向けに「新春特別講演会・交流会」を開催し、ホットな話題に関する講演や会員企業同士の交流の場を提供してきたが、今年は例年の同会を新たに発展させた形で、「新春DX推進フォーラム・新春交流会～東信州8社のDX戦略と取り組み～」として開催することとなった。

【イベントについて】

日時:2026年(令和8年)1月28日(水)14:00～16:30(終了後に交流会)

場所:上田東急REIホテル3階信濃(上田市天神4-24-1)

開催方法:会場及びYouTubeライブ配信

内容:●東信州DX大学 特別ミニセミナー

●会員企業によるDX推進事例発表

参加費:交流会参加者は5,000円(AREC・Fii プラザ会員は無料)

詳細や最新情報は、以下URLを参照。

【AREC】

<https://arecplaza.jp/archives/2777>

【東信州次世代イノベーションセンター】

<https://higashishinshu-ngic.com/dx/8158/>

【本イベントの特徴や期待される効果】

●東信州 DX 大学 特別ミニセミナー（25 分間）

講師は、NEXT RESERVATION 株式会社 取締役 藤本 理弘 氏。東信州 DX 大学の学長・AREC アドバイザーでもある同氏が、「東信州 DX 大学のこれからの展開(課題と解決にむけて)」として、これまでの取り組みをふまえた展望を会員企業へ伝える。

●会員企業の DX 推進事例発表（休憩含め 110 分間）

【発表予定の会員企業と演題(仮)】

樺山工業(株)	「樺山工業が考える DX 推進の勘所」
コトブキ通商(株)	「Power Platform で実現する”内製化”の軌跡」
ソレキア(株)	「DX と AI 活用による伴走支援の取り組み」
(株)バリューブックス	「物流 DX の新境地:古本屋から世界の知を循環させるインフラへ」
(株)フロンティア	「暗黙知をデータ活用へ - 成形機設定データ解析の取り組み」
(株)マザーツール	「RFID 導入による商品倉庫の在庫管理自動化への挑戦」
(株)丸陽	「無料で出来た！AI-OCR を活用した煩雑な入金処理の改善事例」
(株)ユニオンプレート	「加工機械の稼働データの基幹システムへの接続」

AREC には、企業・団体等での経験豊かな産学官連携コーディネータが複数おり、会員企業の担当者と密にやり取りを重ね、丁寧な支援を心掛けている。この取り組み 26 年の実績こそが AREC の強みであり、今回の 8 社もの事例紹介につながった。業種もテーマもさまざまな発表をもとに、AREC が他の会員企業との更なる多面的な交流につなげていく。

発表企業が、自社での取り組みを具体的に発表することで、「地域全体での」DX 推進への貢献が期待される。また、参加企業が“明日からのヒントを探る場”(身近な例として実感し、自社での取り組みの推進につなげていける機会)としての効果が期待される。

【本イベントの開催に関し、担当者の意見】

上田市役所 商工課 次世代産業支援担当係長 石川 達也

本イベントは、東信州 DX 大学の取り組みの一環として、AREC が 26 年にわたり積み重ねてきた産学官連携の実績と、会員企業との丁寧な伴走支援の中から生まれた、地域企業 8 社のリアルな DX 実践事例などを共有する場です。

業種もテーマも異なる多様な取り組みを、成功だけでなく課題も含めた“等身大の DX”として発信することで、「DX は特別な企業だけのものではない」「自社にもできる」という実感を持ち帰っていただきたいと考えています。

発表企業の一つひとつの挑戦が、参加企業にとっての“明日からのヒント”となり、次の行動につながる。その積み重ねが、やがて地域全体の DX 推進の力になる。

本フォーラムが、企業同士の新たな交流と連鎖を生み出す起点となり、皆さまが次の一步を踏み出す後押しとなることを、心から願っています。

以上